

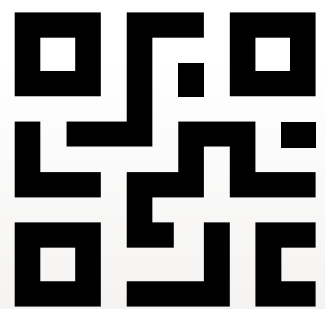
# 避難時における情報 支援サービス

com.tech チームC

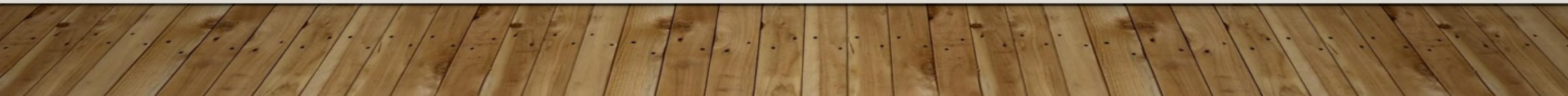
3年 天田 航

2年 関 美奈

2年 長谷川 武



情報



# 阪神・淡路大震災



# 東日本大震災



死者6343人  
行方不明者3人

## 阪神・淡路大震災

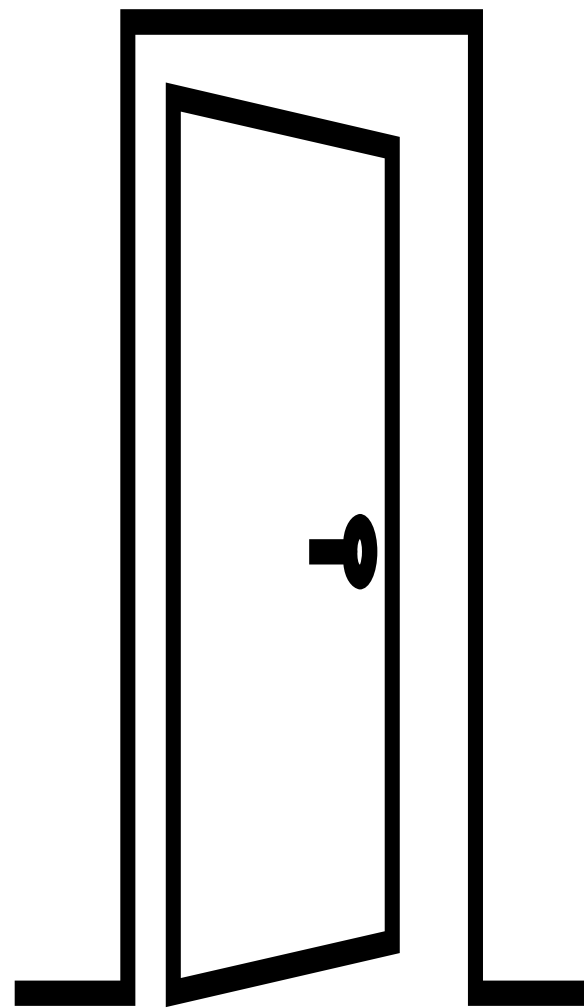


## 東日本大震災

死者15899人  
行方不明者2526人

災害時に最も大事な事！

逃げる  
=避難する



# 避難時には“情報”が必要になる

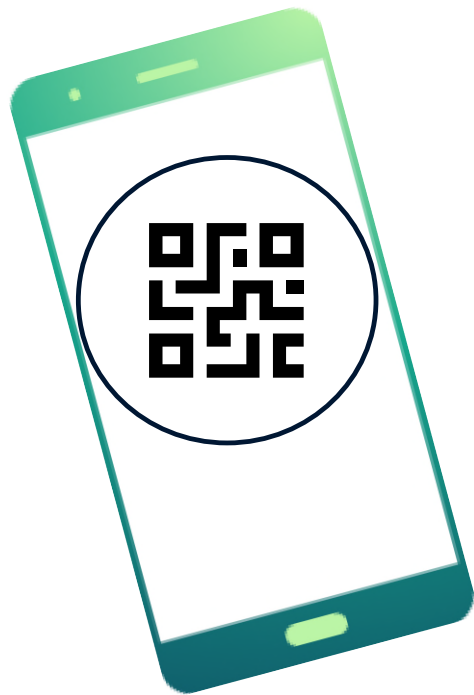
- ⇒ 安全なルートの情報
- ⇒ 目的とする避難所などの場所
- ⇒ 正確な現在地.....etc.

これらの情報は避難時に重要だが、緊急時に手に入れにくい可能性がある。

# 避難時における情報支援サービス

---

迅速に・正確に・そして安全に

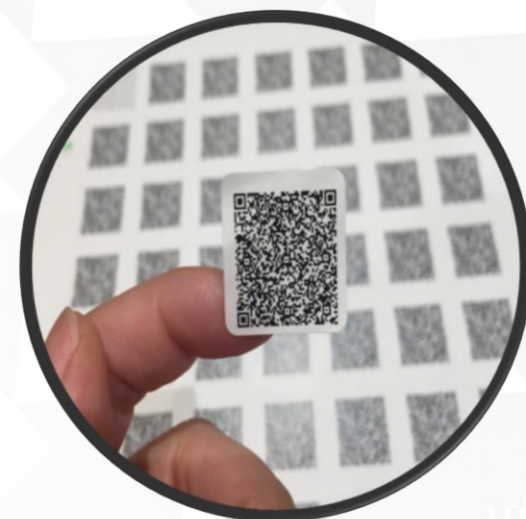
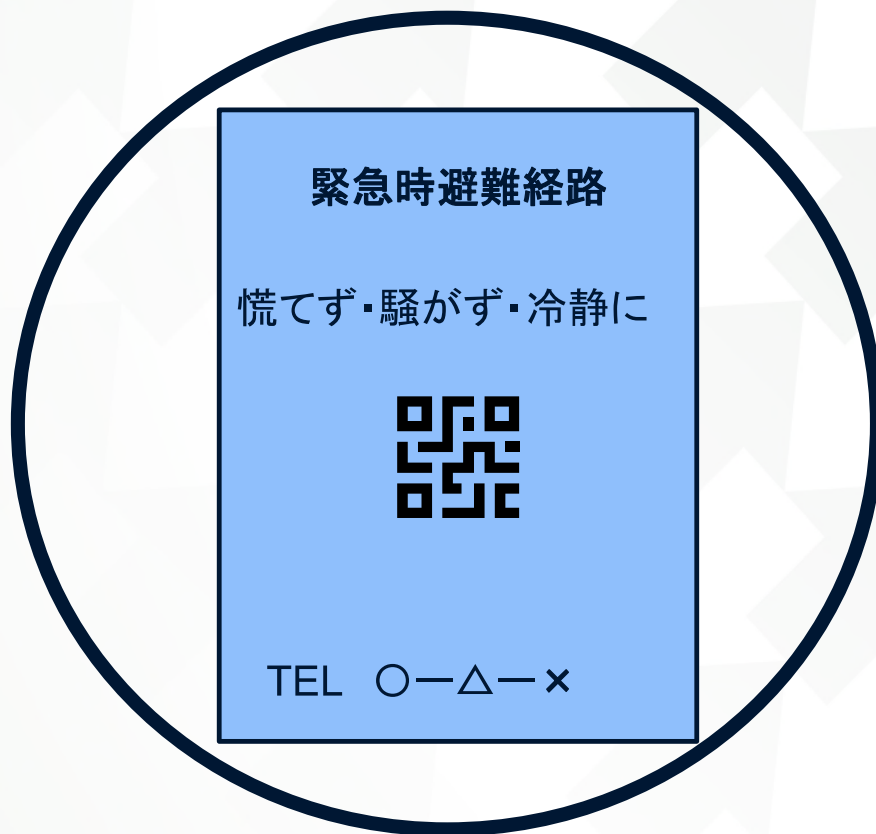




- ⇒ 現在地（QRコードがある場所）
- ⇒ 避難ルート
- ⇒ 周辺の避難場所
- ⇒ 周辺のマップ
- ⇒ 避難場所までの所要時間.....etc.

これらの情報が表示される。

# ～様々な形態～

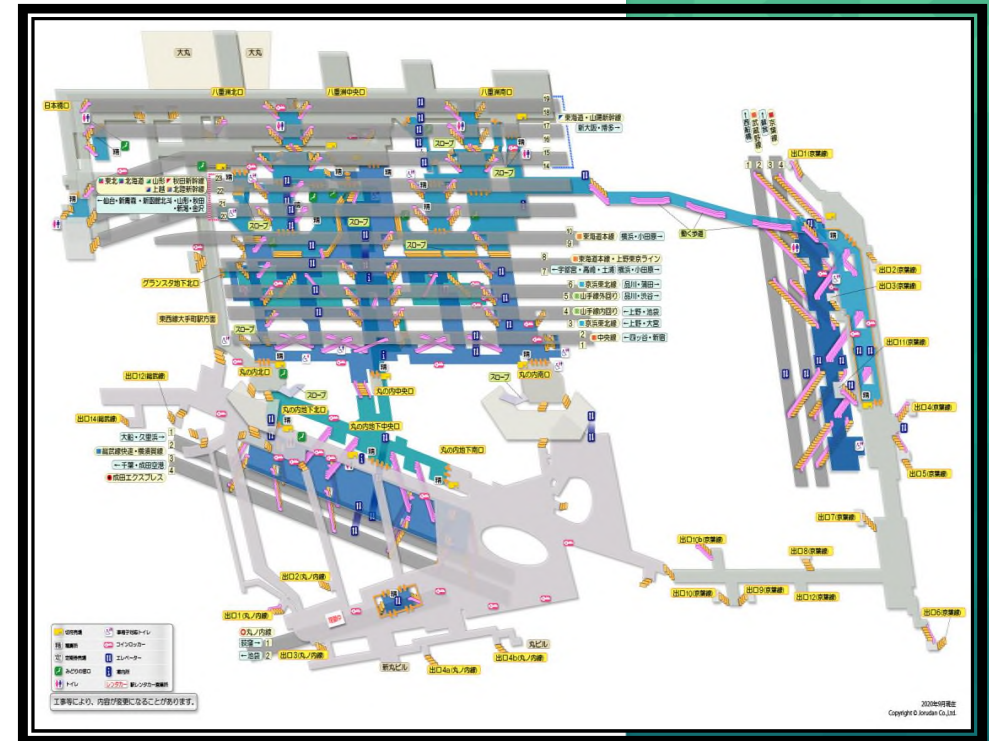


# ～大型商業施設や広い駅の場合～

ショッピングモール内のポスター



駅の案内図





# ～街中の場合～

街中の掲示板



公民館の掲示物

自動販売機





# 懸念点①

自動販売機や掲示板など、街中にあるモノの場合に、物理的な距離や設置感覚の影響で世帯ごとにサービスの恩恵に差が出る可能性がある。



可能な限り等間隔にチラシなどを配置する事により、これの軽減を図る。

## 懸念点②

スマートフォンを使用する都合上、高齢者にとってサービスが利用しづらい可能性がある。



家族内で誰か一人がサービスを利用できれば避難を行う事ができる。



実現可能性



事業計画性

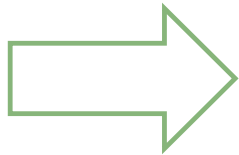


新規独創性





## 実現可能性

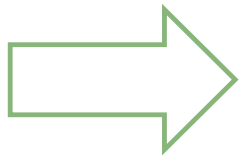


- ・ポスターなどの掲示物は、QRコードが記載されていればいいので、サイズやデザインなど自由が非常に高く、掲示場所を選ぶことが少ない。また、街中に設置する場合でも、その場所に掲示方法を合わせることができます。
- ・サービスはブラウザで提供することで、アプリのDLの必要を無くし、緊急時に簡易に、誰でも使えるものにします。





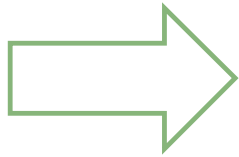
## 事業計画性



- ・iPhone等を手に持っていない状態から、手元にあるQRコードを読むのにかかる時間は、およそ10秒～15秒程度。
- ・緊急時に正確な情報を迅速に得る事ができるこのサービスは、災害などに限らず、避難が必要な全ての場面で活躍することができます。



## 新規独創性



- ・防災サービスは多いが、その多くは自分から情報を打ち込む必要がある。その点、このサービスならiPhone等をかざすだけなのです。
- ・今回のサービスは、柔軟に、様々なニーズに対応することができます。それにより、今までにない新しい防災サービスを定義する物になるでしょう。

ご清聴ありがとうございました。